
絶望

東雲咲夜

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絶望

【Nコード】

N4102D

【作者名】

東雲咲夜

【あらすじ】

絶望という名の詩。短い詩。あなたならば、どっちを選びますか？

（前書き）

開いてくれた方。

ありがとうございます

真っ暗な闇の中 自分という容れ物が溶けてゆく

容れ物を失い残るのは罪と罰と悲しみだけ。

闇に吞まれて哀しみなど消えればいい

裏切られて欺かれて利用されて

光が眩しいのなら ココロが痛いのなら

感情など捨ててしまえ

人形のように生きればいいよ

ココロも感情も光も自分さえも捨てて

責任も義務もすべてをかなぐり捨てろ

それでも、光の中で生きるのが辛いのならば……

いつでも堕ちておいで？

でもね……勘違いしないで。

堕ちるまでが地獄じゃないんだよ……？

堕ちてからが、絶望の始まりさ……

堕ちてもなお漆黒の闇が、絶望が君を待っている。

美しい光の中、嘘を纏って生きるか。

暗闇に身を浸し、絶望を纏い続けるか。

さあ、君ならどっちを選ぶ？

後書きです

はい。初めて書いてみました。

ダークというかなんというか・・・なんなんでしょう、これ。書いてても混乱しております。

自分の中が混沌状態です。

これが最初で最後かもしれないな・・・詩は。

読んでくださる方、いないと思うのですが・・・

神様のような方、読んでくださりありがとうございます。

さあ、存分にダメだしをどうぞっ！

こんなもん投稿してんじゃないっでもなんでもどうぞ。

小説の休憩に書いたのですが、センスが欠片も見当たらないのですが。

致命的な欠陥だと私思っております。

小説は続けますので・・・よかつたらそちらもどうぞ。

終わりです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4102d/>

絶望

2011年1月18日03時18分発行